

# 山行報告書

計画書整理 No.

期 間：2021年 1月 10日（日夜） ～1月 11日（月）

種 別：個人

山 域：八ヶ岳アイスクライミング（広河原沢右俣クリスマスルンゼ）

参 加 者：金川様、関様（ベルニナ山岳会）、河本

コースタイム

1/9

20:30 横須賀 21:30 横浜 22:30 相模大野 0:30 船山十字路

1/10

6:30 船山十字路 8:30 二俣分岐 10:30 クリスマスルンゼ取付き 12:30 大滝上

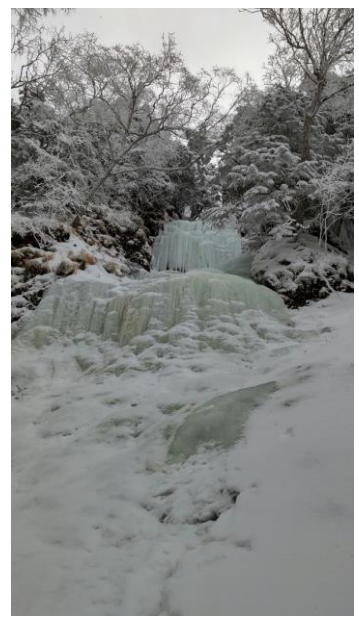
13:30 同下降 16:30 船山十字路



登攀中の金川さん



関さんビレイ



クリスマスルンゼ

当会の冬合宿が中止となったので、個人山行に計画変更。単独での山行も考えたが一応いつもお世話になっている関さんに連絡。「クリスマスルンゼ行きますけど一緒にどうですか？」と快くお誘い頂けた。正に渡りに船、持つべきものは山仲間である。二つ返事でお供させて頂くこととした。

1/10

6:30 船山十字路から出発し林道を進む。この日の八ヶ岳は強い寒波が来ておりスタートから物凄く寒さを感じた。温度計は-5.5℃だったと記憶している。林道は緩や

かな登りで非常に快適。途中昨年行った南稜へのトラバースの看板が出ており、南稜へのアプローチはこの林道の方が快適と思えた。(昨年は下部で早々に南稜に移っていた) 順調に林道を進み広河原沢へ移る。ここも顕著な踏み跡があり道迷いもない。二俣への到着は8:30。ここは左俣、中央稜、右俣と様々なルートのベースになりうるポイントで水とトイレの問題さえクリアできれば良い幕場になる。今回はここをベースに当会の山行を企画したいと密かに思う。ここから右俣をつめていくのだが、このアプローチも特段難しい所はなかったが、2箇所ほどザイルを出しクライミングを強いられたが、核心部前の良い慣らしになる。順調にアプローチし3段60mの大滝に着いたのが10:30。いよいよ核心部である。1段目は先陣を切って関さんがリード。下から見ると中央の階段状に見える所からクライミングを開始していたがなかなかザイルが伸びない。落ちそうになりながらも、ギリギリでアックスを突き刺してまたバランスを持ち直していくといった感じ。それでもノーテンションで登りきったのは流石である。私は中間に入れてもらいクライミング開始。下から見ると階段状に見えるがとんでもない、何故時間がかかるか身を持って体験。とても私がリードできる所ではない。連れて来て頂いて本当に感謝しかない。3人で1時間かけて何とか1段目を突破。さて次は2段目の滝という事であるが、どうやら2段目と3段目が氷で繋がっている模様。大変威圧感のある滝が現れた。ここは金川さんがリード。中央やや右のルンゼから取付き、左にトラバースしバンドに移るルートを取っていた。金川さんはフィフィを巧みに使い、安全を確保しながらザイルを伸ばして行っていたのだが、バンドに移るトラバースで墜落。私が確保していたのだが、何故かザイルにテンションがかかってこない。突き刺したアックスにフィフィで止まったのかと思いきや、なんとアックスのリーシュコードで止まっていた。嘘のような本当の話である。とにかく怪我がなくて本当に良かった。ここもとても難しく、3人で1時間を要した。当初はクリスマスルンゼを2~3回登り時間があったら武藤返しにも行こうとしていたが、下降を開始したのが13:30。ここでタイムアップとし下山する事とした。

今回も自分の実力より上のレベルの山行に連れて行って頂き、誠にありがとうございました。それと鮭とばとビール差し入れありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

河本